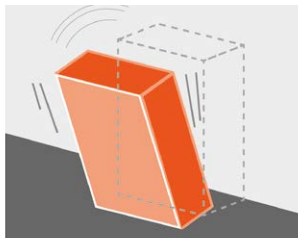


● 地震による家具類の動きと被害

巨大地震では家具類が転倒・落下・移動するだけでなく、変形することもあります。

転倒

- 周囲の人、物への重大な被害
- 避難通路の障害
- 火器器具への転倒による火災発生



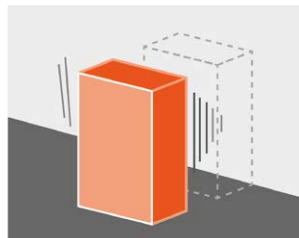
落下

- 周囲の人、物への重大な被害
- 避難通路の障害
- 火器器具上への落下による火災発生



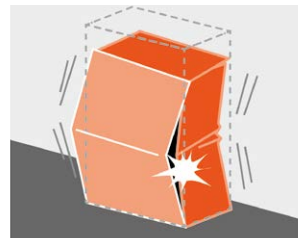
移動

- 周囲の人・物への被害
- 避難通路の障害



変形

- 収納物の移動、落下、破損



収納物の落下

- 周囲の人への被害
- 収納物破損
- 避難通路の障害
- 収納物が火器器具上に落下することによる火災発生



扉の開閉・落下

- 人への被害
- 発音による心理的影響
- 避難通路の障害
- 収納物の落下



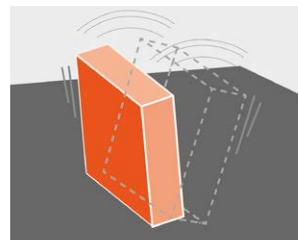
引き出しの飛び出し

- 周囲の人、物への被害
- 収納物破損
- 避難通路の障害



ロッキング

- 周囲の人、物への重大な被害
- 収納物破損
- 発音による心理的影響



長周期地震動の場合は、とくに下記のような危険性が高まります。

- 高層階では、下層階に比べ揺れが大きくなる傾向があり、家具類の転倒・落下に加え、「移動」が発生する。
- キャスター付きの家具類はとくに移動しやすい。(ワゴン、コピー機など)
- 家具の移動により、はさまれる、ぶつかることによる負傷や通路をふさぐなどの避難障害が生じる可能性がある。
- デスクなどの引き出し付家具は、引き出しが飛び出して倒れることがある。
- 水槽などは中の水が大きく揺れ、転倒しやすくなる。
- 吊り下げ式の照明などは大きく揺れて落下する可能性がある。
- 家具類や電化製品の転倒・落下・移動による火災が発生することがある。

参考：東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」

地震だ！
まず身の安全

してますか？ 家具類の転倒・落下・移動防止対策

対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。

東京消防

検索



東京消防庁

上記の被害傾向に対して対策を行うことが、
「人命の安全確保」と
「二次被害の防止」につながります。



オフィスにおける家具類の転倒・落下・移動防止対策は、地震が発生した場合に職場で働く人々や訪れた人々の負傷を防ぐことに加え、重要なデータや書類などの経営資源を守り、事業継続を図るうえでも大切な対策です。